

今後の取組について

<年末までのスケジュール>

9月上 レビューシート提出

9月下 第2回EBPM推進委員会

・各府省における取組紹介（個別事業の改善例、行政事業レビュー推進チーム等の取組例）



令和5年度RSを観察し、課題抽出（必要に応じてヒアリング）

11月 課題と対応策を検討

12月 次年度のRS品質改善方針取りまとめ

年明け 第3回EBPM推進委員会

・次年度のRS品質改善方針等

<上記スケジュールを踏まえた必要な取組>

1. 報告された取組を参考としたレビューシートの更なる改善の継続
（事例共有のほか、EBPM部局として指標設定の考え方を参考にする、同様の改善プロセスを行ってみるなど積極的な取組をお願いします。）
2. EBPM定着に向けた課題抽出と対応策の検討への協力（重点FU（伴走支援）の継続等）
（当面、今年度の結果をもとに、明らかになった新たな課題の解決、作業の効率化などEBPM定着のための支援を強化する方策を検討するためのヒアリング等への協力をお願いします。）
3. RS（レビューシート）システムによる作業効率化の実現に向けた協力
（システムの構築・稼働に向けて、10月以降、レビューシートへのデータ移行の確認等の協力を随時お願いする予定です。）

(参考) 令和5年9月22日(金) 河野大臣記者会見要旨(抜粋)

(河野大臣) EBPMはしっかりと推進をしていきたいと思っております。そういう意味でメディアの皆さんがこのEBPMに関心を持っていただいているのは非常にありがたいと思います。感謝申し上げます。

一つには、行革推進会議の下に、EBPM推進委員会を設置して、このEBPMの推進体制をしっかりと整備してまいります。また、行政事業のレビューシート、これの対象が予算とうまく連動していないという指摘もございました。また、レビューシートの成果指標の設定が適切でない。あるいは、政策目的とその政策目的を謳っている政策の手段、この論理的なつながりが明確ではない、あるいは論理的につながっていないのではないか。そういうような指摘もありましたので、そうしたことに対応するためにレビューシートの見直しをして、内容の充実を図っていきたいというふうに思っております。

約5,000の事業につきまして、このレビューシートをしっかりと予算の事業と連動できるようにしていきますが、5,000もありますから、今レビューシートのちゃんとした作成状況について精査しているところですが、秋に予定をしている公開レビューでの議論も踏まえてレビューシートの改善、さらにはこのEBPMへ取り組むためのさまざまな改善に取り組んでいきたいと思っております。